

油化学関連シンポジウム in 金沢

～サステナブル社会の実現に貢献する油化学～

油化学分野を支える物質・材料は化石燃料を中心とした様々な炭素源を原料としてきましたが、サステナブル社会の実現を見据え、自然に学ぶ材料設計、未利用資源を生かしたカーボンニュートラル、CO₂を炭素源とするカーボンリサイクルの推進がますます重要になっています。そこで今回は3名の講師からこれらに関する講演をいただくとともに、気軽な雰囲気で講師と語り合う懇談会をプログラムに加えました。晩秋の金沢の地で皆様と議論できる機会となることを楽しみにしています。

主催：公益社団法人 日本油化学会 関西支部

共催：一般財団法人 油脂工業会館

日時：2025年11月20日（木）14:00

会場：金沢大学自然科学講義等 1階ワークショップ1教室

〒920-1192 石川県金沢市角間町

参加費：一般 1,000 円、学生 無料 定員 40 名

（参加費は当日会場にて現金でお支払い願います）

申込方法：以下のフォームからお申し込みください。申込締切 2025 年 11 月 3 日

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScX3Ov0Mhlm70koxYcF0Cp35jB5D6gJgJ-Uri955EDnx8EjpA/viewform?usp=dialog>

世話人：金沢大学理工研究域物質化学系 太田 明雄 (akio-o@se.kanazawa-u.ac.jp)

<プログラム>

14:00～14:05 【開会挨拶】

14:05～14:50 【招待講演1】花王株式会社 坂井 隆也 氏

「清潔な暮らしを持続可能にする次世代界面活性剤：バイオ IOS」

サステナブル界面活性剤として開発された『バイオ IOS』。本講演では、この素材がなぜサステナブルと言えるのか、そしてなぜ今それが必要とされるのかについて、開発背景とともにご紹介します。

14:50～15:35 【招待講演2】奈良先端科学技術大学院大学 安原 主馬 氏

「自然に学んで細胞膜をあやつるポリマーをつくる」

自然界には、細胞膜と相互作用することで生理活性を示す多様なペプチドが存在します。本講演では、天然の膜活性ペプチドが共通して有する両親媒性構造をヒントに、これまで我々がデザインした種々の機能性ポリマーを紹介します。

15:40～16:25 【招待講演3】株式会社堀場製作所 水野 裕介 氏

「カーボンニュートラル社会実現に向けたエネルギー資源循環に係わる技術開発と計測」

カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組み（代替燃料・電動化・CCUS など）の昨今のトレンドと課題、その解決に向けた計測・分析断面からのアプローチを紹介します。

16:30～17:30 【講師を囲む懇談会】